

**【事務事業調査】**

事務事業名	自転車通学用ヘルメット購入費補助		予算科目コード	会計-款-項-目-事業 001-10-03-02-002-01-02-0(阿中) 001-10-03-02-002-01-03-0(北中)
担当部課	教育部 こどもみらい課	担当係長	学校教育担当 福田 和則	事業の分類 既存事業

**■事務事業の概要**

	何をどのような方法で実施します(実施しました)か？	どのような成果が現れます(現れました)か？
計画	H23事後評価 自転車通学する生徒の安全確保のため、ヘルメットの購入費用の一部を補助しました。	自転車に乗る際に、ヘルメットをかぶることで交通事故に対する危機感が高まり、生徒の交通安全に対する意識啓発を図ることができます。
	H25事前評価 自転車通学する生徒の安全確保のため、ヘルメットの購入費用の一部を補助します。	
実績		

**■活動指標**

指標	目標値	達成値	特記事項
自転車通学をする生徒のヘルメット購入率	100%		

**■事業費(計画)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	積 算 根 拠
1	補助金	220	助成金 阿中@1,000円×130名、北中@1,000円×90名
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		220	

**■事業費(実績)**

【単位:千円】

番号	細 節	金 額	特 記 事 項
1			
2			
3			
4			
5			
6			
7			
8			
		0	

**■事業経費**

		計 画 【千円】	実 績 【千円】	特 記 事 項
予 算	当初予算額	220		
	補正予算額			
	流用額			
	予算現額			
決 算	決算額			
財 源	国庫支出金			
	県支出金			
	地方債			
	受益者負担金			
	その他の特定財源			
	計	0		
	差引(一般財源)	220		

■補助金等名:自転車通学用ヘルメット購入補助

■補助事業者等:阿久津中学校長・北高根沢中学校長

★自己評価基準

- (1)とてもよくあてはまる:5点
- (2)あてはまる:4点
- (3)どちらかというにあてはまる:3点
- (4)どちらかというにあてはまらない:1点
- (5)あてはまらない:0点

★総合評価基準

- (1)継続:総得点が35点以上
- (2)見直し:総得点が35点未満

補助金等交付基準		自己評価	評価に関するコメント	
1	公益性	■受益が不特定多数の町民に広く及ぶものであり、特定の個人や団体のみが利益を受ける事業でない。	3	補助の対象が自転車通学生徒に限定はされるが、中学という早期の段階から交通安全の啓発活動に期待ができる。
		■町全体に波及効果が期待できる。		
2	必要性	■地域経営計画に即し政策的に奨励する事業であり、町民のニーズに即している。	4	交通安全への意識啓発は「学校安全指導の充実」という施策に適合する。 また万が一、事故に遭遇した際、ヘルメットは頭部への衝撃を最小限に抑える役割を果たすため、着用の義務付けを保護者に促す際にも当該補助は必要性の高いものである。
		■社会動向を展望し、先見性・発展性がある。	4	
3	公平性	■民間、NPO、ボランティア等、既存団体等の活動を阻害しない。	5	公平かつ均等である。
		■町民のサービス受益機会が均等である。	3	
4	効果性	■事業効果が明確かつ具体的である。	5	交通安全対策のための備品購入にかかる補助であるため、事業効果は明確かつ具体的である。 予算については、必要最低限の金額に抑制している。
		■予算の見積が適正である。	4	
5	適格性	■実施体制が明確である。	5	ヘルメットの購入費用に限定した補助である。 自立に向けた計画はない。
		■自主・自立の傾向が明白で、将来計画がある。	1	
合計点数		37		
総合評価		継続		